

撮 取



HP「浄土宗撮取山念佛寺とフォークローレ」3,201,715のアクセス
URL：<https://www.can-chan.com/> メール：can.tanaka@gmail.com
ホーム/参道の写真/境内（ゲーム）/本堂/寺子屋/鐘楼/庫裏の7つの門



なにしおはめで あふみかやまの さねかづら ひやしらねで しるよしもがな
三條右大臣（藤原定方）の歌

中央の赤い実は「さねかづら」（別名：美男葡萄びなんかづら）。
12月になり、庭で赤く色づいてきました。

新しい年が素敵な1年でありますように

〒717-0201
岡山県真庭郡新庄村1197
浄土宗撮取山念佛寺

田中 寛一
由美子

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

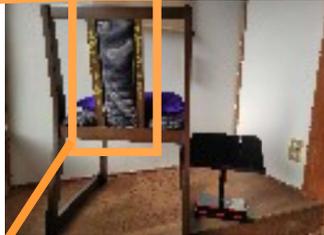
年賀の
代わりに
寺報を作
成してみ
ました。
初めて
の試みで
す。年賀
状で使用
する図案
をそのま
ま使って
います。
文字を
読みやす
くしようと
思った
ら、これ
ほど大き
くなっ
てしまいま
した。

椅子と書見台

石田享様のご寄付で、この度、高座の代わりに椅子を置き、経本を置くための書見台を購入させていただきました。

私は9月の運動会ごろから、膝が痛くなり、夜寝ていても膝が痛むという状況でした。そんな症状ですから正座がとてできない状態でした。

ほぼ収まるのに2か月以上かかってしまいました。今後のことも考え、思い切って、本堂では導師も椅子で



法要を行います。

サネカズラ

表の年賀図案の中央の実は、左の写真の一部です。実から育て3年になります。小さな花から大きな粒の集まった実になるのも面白いです。



「さね（実・核）」は物の中心にある固い所をいい、果実のことです。万葉集にも多数詠まれていたりといえます。茎などから出る粘液は、古くは整髪料に利用されたそうです。別名が多く、五味葛、ピナンカズラ（美男葛）、大阪ではビジヨカズラ（美女葛）、サナカズラ（真葛）の名は、枝に粘液が含まれ粘ることによるそうです。赤く熟した果実を乾

燥したものは南五味子と呼び、咳止めや滋養強壯の薬として用いられるそうです。

仏教と生活「五味」

サネカズラで「五味」という言葉が出たので五味について書きます。

五味とは、普通「甘味・酸味・塩味・苦味・うま味」のことです。

仏教では、牛や羊の乳を精製する過程における、五段階の味「乳味・酪味・生酥味・熟酥味・醍醐味」をさします。

その中で醍醐味だいごみとは精製の段階を経て美味となった最高級の風味や乳製品をさすのです。

このことから、仏教での衆生の機根（性格や教えを受け入れられる器）を見極め、順序だてて教えを段階的に説いたことを表しているともいわれます（涅槃経による五味相生の譬）。

現在では日常的に、「物事の真のおもしろさ」を表現する言葉として使われています。

和顔愛語

はがきや封書の郵送料が24年10月から63円が85円に、84円の封書が110円に、30年ぶりに高騰▼檀家の皆様への年賀状を今回初めて寺報という形にしてみました。寺報も秋の彼岸まで発行して、春の彼岸までの間を縮めるという意味もあります▼「巳年」に因んだというわけでもないですが、「み」というわけで、サネカズラの「実」を写真やその意味について調べながら寺報を作ってみました▼蛇は仏教を保護する「那伽（ナーガ）」という神として登場します。お釈迦さまがさとりをひらくときにそれを守ったとの逸話が經典に説かれるほか、仏教を守護する四天王の一人である広目天の眷属でもあります。ゴブラのいない中国では「龍」「龍王」と訳されたようです。

南無阿弥陀仏。合掌